

“だれもが住み続けたくなる長岡京市へ”

# 進藤ひろゆき後援会 NEWS



2005年7月  
第16号

発行 | 進藤裕之後援会

長岡京市神足焼町1  
松下電器労働組合支部内  
☎(075)955-1875

印刷 | きたむら工房

部内資料

だれもが住み続けたくなる長岡京市を目指して  
「未来を築く5つの政策」の実現

へ向けてこれからも全力で取り組んでまいります！

平成16年度 市政相談 分野別件数  
総件数247件 / 143人

相談内容	件数
環境(ゴミ、公害など)	11
教育(学校、社会教育など)	16
交通安全(駐車、事故など)	23
上下水道(雨、汚水など)	14
建設(住宅、土地など)	11
土木(道路、河川など)	47
福祉(老人、障がい、保育など)	21
保健、医療(病院など)	3
商工、農業(労働、消費など)	3
その他(防犯など)	98

昨年度の分野別相談件数トップは「土木」で、主に台風による小畑川の増水などの防災に関する相談と、第二外環状道路に関する相談で四十七件でした。

次いで「交通安全」で、子どもたちの通学路や生活道路の安全確保、信号設置などに関する相談が二十三件。

「福祉」に関しては、保育所相談や障がい者福祉などに関する相談が二十一件。

「教育」については、小学生に対する事件が増加していることから、学校の安全確保などでの相談が十六件。

「上下水道」関係では、水道使用料の値上げに対しての質問や相談と、下水道整備状況などの相談で十四件でした。

皆さまからいただきました課題は、本会議での一般質問や常任委員会、予算・決算審査特別委員会での質疑などにより、とりあげ、それぞれひとつひとつとつてできることから改善に向けて取り組んでまいりました。

例えば、防災については、昨年の秋の台風二十三号の時に避難準備勧告が発令された時に広報車の拡声器による声に聞こえていなかったご家庭が多かったことから、水害や土砂くずれなどの災害が発生した時に、確実に市民の皆さんに災害の情報を伝えていく事の重要性について、一般質問で問題提起をさせていただきました。

その結果、情報を伝えるひとつの手段として、現在、市役所本庁舎の屋上と奥海印寺自治会館の2カ所に設置されています。

皆さんの声を「市政」に「反映」してまいりました  
その一部を紹介いたします

今後は、サイレンが鳴っている時の意味についての周知徹底や、危険区域を知らせたことだけで終わりではなく、自主防災組織醸成へ向けた行政としての取り組み強化を図ってまいります。

今後とも引き続きましての「進藤ひろゆき」へのご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

長岡京市の明るい未来を、ともに創っていきましょう！

### 進藤ひろゆき 未来を築く5つの政策

- ・ しっかりとした財政基盤の確立
- ・ 開かれたわかりやすい議会の実現
- ・ 子どもたちがいきいきと成長できる環境の整備
- ・ 全ての人にやさしい安心なまちづくりの促進
- ・ 自然と共生できるくらし文化の創造

## イベントに参加いただいた皆さま、ありがとうございました

### 第4回「グラウンドゴルフ大会」開催！

5/21(土)に第4回「長岡京市民懇杯 グラウンドゴルフ大会」を松下電器産業(株)半導体社の西側グラウンドにて開催しました。

当日は、91名の方々に参加いただき、さわやかな汗を流して楽しいひと時を過ごしていただくことができました。

入賞された皆さまおめでとうございました!!



参加いただいた皆さま



表彰式

### 第4回「親子であそぼう!創作ひろば」開催!

6/4(土)に第4回「親子であそぼう!創作ひろば」を長岡京市民懇話会の主催で、松下電器産業(株)半導体社西側駐車場にて開催し、約500名の皆さまにご来場いただきました。

暑い一日でしたが多くのご家族にお越しいただき、竹細工、木工クラフトやミニSLなど各コーナーともに笑顔いっぱいでした。



竹細工



木工クラフト

# 平成十七年第二回議会定例会報告

平成十七年第二回議会定例会  
が、六月九日(木)から二十三日(木)の十五日間の会期で開催されました。

ここでは、議会で審議された議案のうち、主なものについて説明します。

## 第四十三号議案

平成十六年度の長岡京市水道事業会計決算の認定をを求める議案です。

下表に示す金額で認定され、五年連続の赤字決算でした。

当初予算では一・九億円の赤字になる見込みでしたが、最終的には〇・四億円の赤字にとどまりました。

これは、収入の部において、猛暑の影響による給水収益の増、

この議会で採決された議案は7件、承認をを求める報告は5件ですべて可決・認定・承認されました(以下主な議案です)。

第43号議案 平成16年度長岡京市水道事業会計決算の認定について

第44号議案 平成17年度長岡京市一般会計補正予算(第1号)

他に諮問1件が同意、報告9件、請願1件が趣旨採択、陳情1件が趣旨を了とする、議員提出の意見書3件が可決されました。

## 平成16年度水道事業会計決算

・収益的収入および支出	
収入	26.5億円(前年比 102.6%)
支出	26.9億円(前年比 102.9%)
赤字の未処理欠損金は、次年度へ持ち越し	
・資本的収支および支出	
収入	2.5億円(前年比 142.3%)
支出	5.9億円(前年比 112.9%)
不足額は、損益勘定留保資金などで補てん	

新規宅地開発による受託工事収入の増、遊休地の売却による特別収益の増があったこと、また支出の部においては、「水道局」と「下水道部」を統合し、「上下水道局」を新設したことでの人件費削減や、企業職手当の廃止、動力費削減などの企業努力があったことによるものです。

平成十二年十月に導入された京都府営水道は、地下水の他に水源を確保する目的で導入されたもので、危機管理として長岡京市にとっては必要不可欠なものです。

しかし、その受水費用は平成十六年度決算で見ると十・三億円、総支出の三十八・三%をしめている状態です。

今後も京都府営水道の受水費軽減へ向けて、現状の需要に即した受水量の弾力化や、府営水道三浄水場(宇治・木津・乙訓)の接続による料金格差の改善に

## 進藤ひろゆきの主な活動記録

(期間:平成17年4月11日～7月11日)

### 4月

- 19日 朝の街頭演説 JR長岡京駅東口
- 20日 朝の街頭演説 阪急長岡天神駅西口
- 29日 長岡JFC(ジョイフルサッカースポーツ少年団) 2005年度総会

### 5月

- 1日 第76回 京都中央メーデー
- 10日 朝の街頭演説 阪急長岡天神駅東口
- 11日 朝の街頭演説 JR長岡京駅西口
- 14日 松愛会京都支部総会
- 16、17日 総務産業常任委員会行政視察 海老名市・文京区)
- 21日 第4回 長岡京市民懇杯グラウンドゴルフ大会 / 松親会懇親会
- 24日 朝の街頭演説 阪急長岡天神駅西口
- 25日 朝の街頭演説 JR長岡京駅東口
- 26、27日 第二外環道路対策特別委員会行政視察 (常滑市・日本道路公団中部支社)
- 27日 長岡京市商工会 総代会懇親会
- 29日 JTグループ クリーンキャンペーン

### 6月

- 3～23日 平成17年第2回議会定例会
- 3日 MCM(松下電器労組組織内議員団会議)総会
- 4日 長岡JFC親子サッカー / 第4回 親子であそぼう!創作ひろば
- 5日 署団合同水防訓練
- 6日 連合乙訓街頭行動(JR長岡京駅西口)
- 7日 朝の街頭演説 阪急長岡天神駅東口
- 8日 朝の街頭演説 JR長岡京駅西口
- 25日 第九小学校 夏季校区大会(ドッジボール大会) / JR西口まちびらきオープニングセレモニー
- 28日 朝の街頭演説 阪急長岡天神駅西口
- 29日 朝の街頭演説 JR長岡京駅東口

### 7月

- 3日 小畑川クリーン作戦
- 5日 連合乙訓街頭行動(JR長岡京駅西口)
- 8日 幼年消防クラブのつどい

ついで、京都府への継続した要望が必要です。

【進藤ひろゆきのコメント】四月からの水道料金の値上げにより、今年度の水道事業会計当初予算は、〇・一億円の赤字見込みとなりました。

今後、水道事業経営懇談会の提言を受けて、今年度の二月に上下水道局が策定した「長岡京市水道事業経営改善計画」と、「長岡京市水道事業施設整備計画(ふれっしゅ水道計画)第四期実施計画」の確実な実行と、施策別の数値目標の達成状況のチェックをまいります。

後世に過大な財政負担を残すことなく、貴重な財産である地下水を上手に使っていくために、水道事業がどうあるべきか、市民の皆さんとともに考えてまいります。

## 水道事業会計決算額(収益的収入・支出)の推移(単位:億円)平成17年度は予算額

年度	収入	支出	差額(収入-支出)	一般会計からの繰入額
平成12	19.0	23.1	-4.1	0
平成13	26.2	27.8	-1.6	2.0
平成14	26.0	26.2	-0.2	2.0
平成15	25.8	26.1	-0.3	2.0
平成16	26.5	26.9	-0.4	1.3
平成17	28.0	27.9	+0.1	0.8

## 第四十四号議案

平成十七年度の一般会計補正予算です。この補正により、市の貯金である財政調整基金のとりぐずしが〇・三億円減額されましたが、残額は十四・三億円しかない状況です。

【進藤ひろゆきのコメント】平成十六年度と十七年度は、財政調整基金からそれぞれ十一・六億円と十一・三億円をとりぐずさなければ、予算編成ができませんでした。

歳入に見合った歳出を実現していくために、行財政改革をきつちりと断行し、民間にまかせられる仕事は民間にまかせ、一律削減による「減量経営」から、事業の取捨選択による「政策経営」への早急な転換を今後とも求めてまいります。

・事務所  
TEL&FAX 955-1875

・自宅  
TEL&FAX 951-9037

・ホームページ  
<http://www.shin-do-it.com/>

